

2026年2月24日  
イオン九州株式会社

～宮崎県綾町の日向夏生産者さまを応援～  
『露地もの日向夏』3月2日（月）より宮崎県内の  
イオン・マックスバリュ22店舗にて販売を開始

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は、JAみやざき様・日向夏生産者様とともに栽培、収穫した「露地もの日向夏」を宮崎県内の「イオン」「マックスバリュ」22店舗にて販売を開始いたします。



※写真は2024年販売の様子です

これまでの歩み「2023年～2026年」露地もの日向夏収穫に向けた取り組み  
イオン九州従業員による支援活動

イオン九州従業員による綾町への日向夏支援活動は、JAみやざき様や日向夏生産者様との連携のもと2022年より行っております。

2025年2月の収穫量が、例年の2割まで落ち込む厳しい気候条件だったこともあり、従来の収穫支援に加えて、品質の良い日向夏を増やしていくために同年9月に日向夏の「袋掛け作業」お手伝いを実施しました。袋掛けを行うことで、日向夏の日焼けや傷がつくのを防ぎ、品質の良い日向夏が収穫できます。しかし、その数は膨大で、7軒の生産者の日向夏畑で40名が4時間かけて作業をして12,800個の日向夏に袋掛けを実施しました。生産者は毎年この10倍以上の袋掛けを行っています。

1. 袋掛け作業の様子



※写真は2025年9月実施分です

## 2. 収穫作業の様子（袋掛けした紙の除去と収穫）

綾町とともに多様な価値を創出する里山づくり「綾町イオンの森」。人と自然の共生を目指すユネスコエコパークらしい森に再生するため、2017年よりニホンミツバチの生息環境を整える花木を植え育てたことにより、ニホンミツバチが飛来し、日向夏の受粉を手助けしています。

綾町の農業は自然と人の共生のため循環型農業に取り組まれており、ニホンミツバチに影響の少ない薬剤を選んで使用するなど、環境に配慮した栽培を実践しています。2024年は推定4,500kg、2026年は推定6,200kgもの日向夏を収穫することが出来ました。生産者の苦勞を感じることでイオンの店頭に並ぶ日向夏の販売にも熱が入ります。



※写真は2026年2月実施分です

## 3. 選果・箱詰め作業の様子

2023年2月は収穫日当日が雨天であったため、作業内容を収穫から変更し、日向夏の選果（日向夏のサイズによって仕分ける作業）や出荷用に箱詰め作業をお手伝いしました。生産者みなさんは、収穫と出荷の準備を同時期に行わなければなりません。太陽の光と生産者の愛情をたっぷりと浴びて鮮やかな黄色に色づいた日向夏を丁寧に箱詰めしました。



※写真は2023年2月実施分です

イオン九州は、次代を担う子供たちに豊かな自然環境を受け継ぐために環境活動に積極的に取り組むとともに、地域の発展・活性化を目指し、行政・生産者さま・地域の皆さまと連携して、地産地消・地産域消を推進してまいります。

以上